

# 有料化でホントにゴミは減りますか？

## 尾張旭市、粗大ゴミ収集の有料化方針を打ち出す

2月23日、市は粗大ゴミの収集を有料化する方針であることを議員に明かし、制度の目的・概要、実施までのスケジュールなどの説明を行いました。党市議団は基本的に賛成できませんが、説明資料を見ると、疑問や懸念が生まれます。有料化すればゴミの排出が減るって本当でしょうか？

以前から、粗大ゴミの有料化を市が検討しているとの話を伝え聞いていました。資料とあわせて正式に議員への説明があったのは今回が初めてです。市環境課から話も聞いてみると

「尾張旭市が無料で回収しているのが既に有料化している名古屋と隣接する地域では、粗大ゴミが出て来る量が多い。毎月出す家もある。庄南町（市南西端、名古屋市と隣接している地域）も、すごく

多いんですよ。」との話。もし、名古屋の粗大ゴミが尾張旭市に流れてきているというなら、腹立たしいことではあります。それは、ゴミの発生そのものが減るといふわけではありませぬ。不要品は、どこかに出すしかありませんから。市作成資料を見ると、愛知県内の36市のうち、粗大ゴミの収集を有料で行って

いる市が30。無料でやっているところが3（尾張旭・瀬戸・碧南）。行政で粗大ゴミを収集していない市が3（常滑・大府・田原）。全国的には市区レベルで、ほぼ半数が有料化しているとのこと。県内の状況を見ると有料化も仕方がないのかなと思ってしまうのですが、資料には非常に気になる記述があります。

### 全ゴミ有料化の一里塚？

「これまでは分別・リサイクル中心のゴミ減量策でしたが、今後はゴミ自体を減らす取組み（リデュース）が重要。国の基本方針では、排出量に応じた負担の公平

化と住民の意識改革を強めるため、ゴミの有料化を推進することが明確に打ち出されました。その**第一歩として**「粗大ゴミの有料化」の導入を検討しています。

「第一歩として」つまり、有料化の検討は粗大ゴミに限定した議論では無い。ということ。これは見過ごすことはできません。

可燃ゴミの有料化（指定ゴミ袋の料金に上乗せするなどの方法がある）を行ったところで、導入当初はゴミの量が減っても、いずれ元にもどってしまい結局ゴミ減量につながらなかつた例が全国にいくつもあります。

他にも、粗大ゴミ収集で得られる手数料の使い道として、高齢者世帯、身体障害者世帯等に対するゴミ出し支援活動費の一部にも使うとの説明もあります。

福祉施策として「高齢者世帯、身体障害者世帯等に対するゴミ出し支援」は必要なことですが、ゴミ収集の手数料収入が少なければ、支援も少なくなるのか？

必要な支援なら、手数料収入の多少に関わらず行うべきです。導入の方便に使ってもらっては困ります。

市の目論見では、別掲の実施計画スケジュールの様に、2011年度中の早い時期に有料化を実施したいというところがあることを指摘しておきたいと思えます。



### 実施計画スケジュール

- 2010年3月 廃棄物減量等推進審議会にて「粗大ごみの有料化（案）」を作成
  - 5月 「粗大ごみの有料化（案）」についてパブリックコメントの実施
  - 7月 廃棄物減量等推進審議会にて「粗大ごみの有料化（案）」の承認
  - 9月 市議会に条例改正案提出
- 2011年度の早い時期に 粗大ごみの有料化実施